

愛 知 県 知 事 殿

蒲郡市長 鈴 木 寿 明

検証実施報告書

令和 6 年 8 月 2 1 日付け 6 災対第 4 7 1 - 5 号で事業を決定された後、貸与されたテントを用いて検証を実施しましたので、令和 6 年度ペット同行避難対策事業実施要領第 9 の規定に基づき、下記のとおり提出します。

記

実施日	令和 7 年 1 月 2 6 日
実施場所	蒲郡市立三谷小学校 体育館 （蒲郡市三谷町迫 1 番地 1）
内容	1 参加者 計 3 6 名 （1）三谷地区自主防災会長 7 名 （2）ペット同行一般参加者 7 名 （同行したペットの種類と頭数 犬 5 頭 猫 6 匹） （3）災害ボランティアネットがまごおり 5 名 （4）避難所開設担当職員 1 7 名 2 検証方法 同日に開催したペット同行避難対策導入支援事業におけるペット滞在スペース設営の一環として、取扱説明書なしでペット飼育者主体による組み立て、クレート等に入れた犬及び猫を滞在させることを通して市の資機材としての導入に向けて検証を行う。 3 検証項目 （1）温度、明るさ、臭気、騒音 ・ 窓や通気口はあるが、熱が籠りやすいのではないか。 ・ 当日は中に照明を付けなかったが、自然光でぼんやりと明るい室内はペットが落ち着く環境であると感じた。 ・ 窓や通気口はあるが、熱が籠りやすいのではないか。 ・ 新品のため素材の化学物質の臭いが気になった。 ・ テント内外の音を遮蔽しないため、設置場所を人の動線

	から離さないとペットが落ち着かないおそれがある。 (2) 逸走の可能性 ・ 中仕切りネットを正しく取り付けることができれば、出入りの際の逸走防止対策は十分と思われる。 (3) 仕様の過不足 ・ フレーム、生地共にしっかりした構造であるため安心感がある。 ・ 窓が2カ所にあり、メッシュが着いているため逸走を心配せずに換気や最高ができるのは便利であると感じた。 ・ 取扱説明書が同梱されていなかったため、同梱されていないものは災害時も無いものと考え、今回は説明が一切ない状態から組み立てを行った（組み立ての検証として、テント納品後に県から届いた説明書は見せなかった）。やはり最初から同梱されていた方が短時間で完成したと思われる。しかしながら、構造がシンプルであるため、取扱説明書がなくても人手があれば相談しながら組み立てることは可能。 ・ 二重扉の中仕切りネットがあることに気づかないまま組み立て完了してしまった。二重扉は逸走防止に必要なものであるため、中仕切りネットに「二重扉用中仕切りネット」と印字しておくことで組み立て時に忘れられることが防げられると思われる。 ・ 生地は厚く、耐久性に優れていると感じたが、生地の色が濃いため、室内が暗い。ペットにとっては落ち着く環境であるが、一方で人が中で作業をすることを考えると、もう少し外の明かりが透過するような生地が良い。 ・ 重量があるため平時の保管場所は低い位置を確保する必要がある。また、テント生地とフレームが同じ箱に入っていないため、倉庫の整理等で離ればなれになる恐れがある。そのため、大きな札を作成して双方に取り付け、2つでセットの物であることを明記した。 (4) 付属が望ましい仕様 ・ 取扱説明書の同梱又はフレームを収納するダンボールへの組み立て方等の印刷。
--	--

	・ 各パーツに「底面シート」「中仕切りネット」等、名称等を印字すると迷わず組み立てられると考える。 ・ 屋内に設置する場合は、屋内設置用の全面ネットの屋根が付属していると換気もできて逸走防止もできるので使い勝手が良いと思われる。 (5) 設置場所 ・ ペグがないため、強風時に外に設置するのは躊躇われる。実際に設置するときは、強風に煽られてテントが舞い上がる可能性を十分考慮して場所を選定する必要がある。設置場所の候補として、壁と屋根がある渡り廊下等が適していると考えられる。 ・ 現状ではスポットクーラーが利用できる可能性は著しく低い。そのため、夏場の使用には不安を覚える。熱気が籠る夏場に、窓を全て開放してどの程度換気がなされるか検証する必要があると考えている。熱気は屋根部分を外すことで対応できるが、猫の場合は逸走の可能性があるが、犬であれば可能と思われる。 (6) 事務手続き ・ 事務手続きについては、特筆することはない。 4 総評 ・ テントは工具不要で簡単に組み立てられること、また、付属している表示「ねこと、ひなんしています」等は非常にわかりやすく、取り付けも簡単であるため飼い主及び自主防災会から好評であった。 ・ 四方及び天井が幕で覆われているため、ペットのストレス軽減になると思う。一方で、中が見えないため飼い主以外が侵入、滞在していても気づかない恐れがある。南京錠がかけられるようだが、鍵の管理も含めて飼い主の会と自主防災会でしっかり協議する必要があると考える。 ・ 幕を張るのに人手が必要であったため、もう少し簡単であってほしいが、慣れれば組み立て、解体に時間を要しないと思われるので、移設が簡単にできるのは良い。 ・ 本市の指定避難所は46カ所あるので、今後、導入する場合
--	--

	の1カ所あたりの数量、予算及び各避難所での収納場所が検討課題として挙げられる。このことから、ペット滞在用テントの導入は今後の検討課題となるため、避難所運営マニュアル等への記載はせず、検証を進めることとする。 ・ 令和7年度以降は、毎年実施する市民総ぐるみ防災訓練の中でテント導入について各地区の自主防災会と検証を重ねる。 <訓練終了後のアンケートより、参加者の意見> ・ ペットと一緒に過ごせるテントがとても良かった。 ・ 避難用テントが非常に立派なものだと感じた。一方で、あそこまでのテントが必要なのかとも感じた。 ・ まだ準備の段階とは思いますが、今回のテントのようなものが市全体、避難場所ごとにいくつ用意される予定なのか。犬などを飼ったことがないため詳しくはわからないが、糞尿など衛生面は重視されているのか。
--	--

※ 検証の様子が分かる写真を添付すること。

※ 関係機関との協議書、改訂した避難所運営マニュアルなど、事業により作成された成果物を添付すること。